

# 令和2年度 学校教育目標・学校経営

富士見市立水谷東小学校  
校長 藤井 文則

## 1 学校教育目標

職員のキーワードは「和を鍛える」 児童のキーワードは「三つの心」

- ◎知：よく考える子
  - ・学習習慣を身に付け、自ら進んで学ぼうとする子
  - ・互いに学び合い友達の意見を大切にする子
  - ・命・感謝・言葉の大切さについてよく考える子
  
- ◎徳：力を合わせる子
  - ・能動的感謝の心で仲間と接する子
  - ・自他を尊重し、相手のことを考えて行動できる子
  - ・あいさつを通して望ましい人間関係を築ける子
  
- ◎体：明るく元気な子
  - ・自らを鍛え最後まで粘り強く取り組む子
  - ・自分と周りの人の健康・安全を守れる子
  - ・進んで活動しチャレンジする子

## 2 目指す学校像

◎児童一人一人が生き生きと輝く学校

～ふるさと水谷東の小学校として「チーム水谷東」で子供を育てる学校～  
＝「和」を鍛える

- ・児童一人一人の生きがいを育み、学ぶ喜びのある学校
- ・教職員が子供の成長にやりがいを感じる学校
- ・保護者・地域に信頼され、愛される学校

## 3 目指す教職員像

(1) 学び続ける教職員

- ・授業力・指導力を磨き続ける教職員
- ・教育のプロとしての情熱をもち、子供たちの心に火をつけるような教職員
- ・新しい学力観を自分達の成長にも生かせる教職員

(2) 協働する教職員

- ・積極的に学校運営に参画し、目標達成に向かい一丸となる教職員
- ・共に支え合い、組織の一員として自らの責任を果たす教職員
- ・互いのストロングポイントを理解し、活かし合う教職員

(3) 心身共に健康で、人間性豊かな教職員

- ・児童への愛情に溢れ、温かく確かな児童理解に努める教職員
- ・教職員としての使命を自覚し、自らを律することのできる教職員
- ・「豊かな心」について感受する姿勢を持ち、互いに語り合うことのできる教職員

#### 4 学校経営方針

##### 【教育理念】

○子供一人一人には、無限の可能性がある。子供のよさや可能性を引き出し伸ばす教育を推進する。

##### 【経営理念】

◎教職員が互いの力を発揮し、磨き合い、高め合う教職員集団

##### (1) 一人一人が学校をつくる

○ストロングポイント生かす

よい組織とは一人一人が力を発揮し、互いが認め合うことのできる組織。

○未来を創る誇り

未来への夢や希望をはぐくみながら、「いのち」を輝かせて精一杯生きる人を育てるという誇りと責任をもつ。

○創造的でフレキシブルな考えを持つ⇒新しい学力観を教職員も実践する。

よいものは受け入れ実践するフレキシブルな心を持つ。

##### (2) 心を一つに

○ベクトルを合わせる

全員の力が同じ方向に結集したとき、何倍もの力となって驚くような成果を生み出す。一人の100歩ではなく、全員の1歩。

○利他の心

自分のことだけを考えて判断するのではなく、周りの人のことを考え、思いやりに満ちた「利他の心」「能動的感謝」を忘れず、行動できるようにする。

##### (3) 教育は人なり

○学び続ける教職員に

学び続ける者こそ、伸び続ける子供の前に立つ資格がある。常に新しい自分を求めて研究と修養に努める。

○謙虚な姿勢

耳の痛い言葉こそ、本当は自分を伸ばしてくれるものであると受け止める謙虚な姿勢が必要である。⇒能動的感謝につながる姿勢

○子供の心に火をつける教職員に

一流の教師は、やる気にさせる、意欲を喚気させる事ができる者である。

## 【経営方針】

◎「チーム水谷東で子供を育てる」＝「和」を鍛える

職員、保護者・地域がそれぞれの立場で役割を果たすとともに、双方向の教育を推進し、地域に愛され、地域を愛する子供を育てる。

(1) 教育公務員としての職責を自覚し、自らの資質・授業力・指導力・コミュニケーション力の向上に努める。 ＜研鑽＞

○望ましい人間関係を築き、児童一人一人が生き生きとする学級・学年経営、生徒指導の充実に努める。

- ・全ての子供の可能性を信じ、その潜在的な能力を引き出す営みを通じて子供の心に火を点し、高い志とともに自己肯定感を醸成する。
- ・子供との関わり、保護者への対応、教職員間のまとまり等、教職員自らのコミュニケーション能力を高める。

○児童が意欲的に学習し、一人一人の力を確実に伸ばすための授業力向上に努める。

- ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、授業改善に努める。
- ・主体的に学び、「なぜ、そうなるか」を考え、課題を発見する能力を高めていく。

(2) 全職員が積極的に学校運営に参画し、組織を機能させ、活力ある学校をつくる。 ＜協働＞

○学校教育目標実現のために、教育課題の把握に努め、個々の力を最大限発揮し、組織が機能する学校を目指す。

- ・一人一人が組織をつくるという意識を持ったうえで、児童を成長させるためのチャレンジを恐れない。⇒「例年どおり」だけで済ませない

○それぞれのよさ（ストロングポイント）を生かし、連携・分担しながら組織的・協働的に課題解決に取り組み、チームとしての学校力を高める。

- ・互いのよさを尊重しながら、互いに補完し合う。人には優しく仕事には厳しく。

(3) 家庭・地域への説明責任を果たしながら、子供の健全な育成に努める。

＜連携＞

○小・中及び幼・保・小が一層連携を深め、地域ぐるみで子供を育て、信頼される開かれた学校づくりを目指す。

- ・地域の中の学校であることを意識し、保護者・地域へ、積極的に働きかける。
- ・教職員自らが保護者・地域への能動的感謝の意識を高める。

## 5 本年度の重点と具体策

### (1) 学ぶ喜び、確かな学力を育む教育活動の推進

#### ○学ぶ意欲を喚起し、目標と評価を明確にした授業の展開

- ・児童の実態把握に基づく目標の設定、身に付けたい力の明確化
- ・学習課題の工夫、教材研究の充実
- ・指導と評価の一体化

#### ○主体的な学びを促す学習の推進

- ・問題解決的な学習、体験的な学習の充実
- ・考えが広がり深まるような、学び合う場の工夫・改善
- ・見通しをもたせ、学習内容を振り返って次につなげる学びの実現

#### ○思考力・判断力・表現力を育む授業の改善

- ・習得した考え方を活用し、自己の考えを創造していく学びの実現
- ・言語活動の充実
- ・学校課題研究の充実⇒表現の多様性について教職員がコンセンサスを積み上げていく

#### ○基礎・基本の定着と個に応じた指導の充実

- ・少人数指導やT・Tによる指導の充実
- ・個別指導の改善、朝学習等の充実
- ・ボランティアを活用した補習の充実

#### ○読書活動の推進

- ・学校図書館の計画的な活用
- ・学級文庫の充実
- ・家庭、地域への啓発

#### ○家庭学習の定着

- ・全校での共通意識を持った取組⇒学力向上推進委員会のリーダーシップ
- ・「家庭学習の手引き」のさらなる充実

#### ○学習規律の徹底

- ・児童の実態を把握し、重点課題に全校で取り組む「よりよい東っ子プロジェクト」の推進
- ・学期ごとの児童学校評価の推進

#### ○ICT機器の活用

- ・プログラミング学習の実践と情報共有
- ・タブレットの有効活用(授業内の活用を今年度中に全職員が実践する)

### (2) 豊かな心の育成と生徒指導の充実

◎三つの心「がまんする心・チャレンジする心・豊かな心」の視点を共有し実践する。

#### ○他人の痛みが分かる豊かな人間性の育成

- ・人権教育の推進、福祉体験、社会体験等の充実
- ・いじめを絶対に許さない心と態度の育成⇒いじめの起きるパターン分析
- ・「いじめのない学校づくりの日」の定着化と充実

○道徳の時間を要とした道徳教育の推進

- ・道徳の授業力の向上、道徳的実践力の育成
- ・考え、議論する授業展開の工夫
- ・指導と評価の工夫

○積極的な生徒指導の充実

- ・児童理解を基盤とした生徒指導（よさを認め、励ます）
- ・基本的な生活習慣の育成（あいさつ、言葉遣い、清掃、授業規律）  
※あいさつ、言葉遣いについては重点指導(年間を通して内省させる)
- ・校内生徒指導体制、教育相談体制の充実

○豊かな心を育てる清掃活動の充実

- ・縦割り清掃活動を通して児童を全職員で見て、伸ばす

(3) 健康教育の推進と体力の向上

○体育の授業と体育集会の充実

- ・力いっぱい運動し、思いっきり汗をかく授業の実践
- ・体育授業時における体力向上のための具体的実践に全校で取り組む
- ・体育集会等の充実⇒自主的な運動へつながる環境づくり

○防災教育の充実

- ・現状を把握しマンネリ化しない活動の工夫
- ・中学校、地域との連携(小学生の地域防災への参画意識の醸成)

○心身ともに健康な児童の育成

- ・不登校傾向の児童への組織的な対応
- ・食物アレルギーのある児童への組織的な対応

○外遊びの励行

- ・全校で取り組む外遊びを通じた体力を高める仕掛け作り

(4) 望ましい人間関係を育てる学級・学年経営の充実

○児童一人一人が認められ、よさを発揮できる学級づくりに努める。

- ・自尊感情、自己有用感を味わわせる
- ・互いに認め合う場、活躍できる場の設定

○自主性を伸ばす活動の展開

- ・計画的な学級内の組織づくり
- ・学級活動の充実

○温かで活気のある学級・学年経営

- ・心の居場所となり、児童の活動が、視覚的に分かる教室経営
- ・異学年との交流も含めた「ふれあい」を大切に活動

- (5) 教職員の資質向上と校内研修の充実
  - 学校研究の推進
    - ・児童の表現力を育む環境づくり
    - ・新しい学力観を職員研修にも取り入れる
  - 授業研究を中心とした校内研修の推進
    - ・授業力向上を目指した校内授業公開、研修会の推進
  - ライフステージに応じた研修の推進
    - ・若手指導教員との連携
    - ・指導力アップ研修の充実
    - ・市・県主催の研修への積極的参加
  - 日常の校務を通した互いに学び合う場の充実
    - ・OJTを活用しての学級・学年経営等の充実
    - ・日常の校務遂行における教材研究の充実
- (6) 保護者・地域と連携し、信頼される学校づくりの推進
  - 保護者・地域の人材・環境を活用した教育活動の推進
    - ・系統的・計画的な教育活動の充実
  - 小・中学校、及び幼・保・小の連携推進
    - ・合同下校、授業交流、合同研修会等の実施
  - PTA活動との連携推進
  - 地域行事への協力(地域・保護者と連携した新しい視点の防災訓練)
- (7) 特別支援教育の推進
  - 一人一人の特性に応じた指導・支援の充実
    - ・ユニバーサルデザインの視点に立った教材研究・指導方法の推進
  - 就学相談が必要な児童の早期対応を心がけ外部組織の活用を推進する
  - 特別支援学級のセンター的機能の推進
    - ・交流教育の推進
- (8) 学ぶ意欲を高める教育環境の整備
  - 興味関心を高め、整備された特別教室づくり
    - ・ユニバーサルデザインの視点に立った教室環境作り（視覚・聴覚）
  - 安心して学習できる環境づくり
    - ・安全点検の充実、マンネリ化の防止
  - 学校ファーム等の計画的な活用